



見る
聞く
さがす
夢がある

日立市民の
生涯学習

百年塾ひるば

第41号 発行日/1998.12.5
発行/ひたち生き生き百年塾推進本部
編集/百年塾広報部会
事務局/生涯学習課 ☎0294-23-9150
〒317-0064 日立市神峰町1-6-11

百年塾10周年 出あいを創った女若男

百年塾の10周年記念ウィーク事業が行われ、10月22日から教育プラザで、10年のあゆみ、市民教授の作品や百年塾推進園・校の活動などの展示、10月24日には若者たちの祭典や記念講演会が行われました。また、10月31日・11月1日には、新都市広場やマールホールなどで百年塾フェスタ'98が行われ、人にやさしいまち、学校が楽しいまち、きれいなまち、国際的なまち、楽しいまち、市民と企業が共生するまち、若者が燃えるまちの7つのテーマで、展示・体験・発表などが行われました。今年も中・高校生たちが大活躍。ネパールに学校を！のビッグハートに155,429円が寄せられました。



にぎやかに華やかに「若者たちの祭典」



出あいの広場は笑顔がいつぱい



広場ステージの若さあふれる演技や
ミュージカルスタイルのフィナーレに拍手かっさい



「元気」をくれた今井通子さん



会場もニコリかわいい演技



飯山本部長も電動カートに試乗



かきた人気バルーンアート



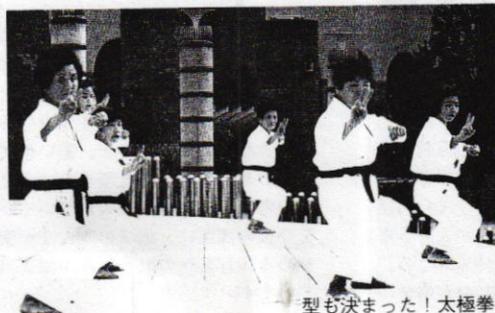
中学生ボランティアのぬいぐるみは人気者



ノコギリ上手に使えるかな



外国の人たちも参加のOXゲーム



型も決まった！太極拳



教育プラザは展示で10周年をアピール



親子でフラワーアレンジメント

日立市では市民生活全般にわたる生涯学習を「百年塾運動」として進めています。

地域の祭りをつくる

市内の小学校区では、コミュニティ毎にスポーツ祭やふれあいの祭りが行われ、多くの出会いや交流が生まれています。これらの祭りには町内会や学区内の諸団体、企業との連携、ネットワークを活かした交流も行われています。

おおせ秋まつり

10月25日、会瀬学区市民運動推進会(会長、柴田和彦さん)が主催する“おおせ秋まつり”が、会瀬青少年の家で行われました。

館内では、地域の人たちの美術展



中里の野菜をたもの大人気

や小・中学校の生徒の作品展、グラウンドでは、会瀬スポーツ少年団が招待した油繩子と中小路の少年団との試合、中庭では三代クロッカー大会を行いました。

4か月前から実行委員会が組織され、準備から当日まで町内会が役割を分担、結束の強さを発揮します。

会瀬2丁目の婦人部は、泊まり込みでけんちんうどんとそばの仕込みをする熱の入れようです。

また、地域の特性を生かして、会瀬漁港で朝あがった魚や、ネットワークを生かした中里の野菜や果物の販売も行われるなど、会瀬と中里の人たちの交流の場も設けられました。

宮田ふれあいまつり

10月24日、宮田小学校で、澄みきった青空のもと“第9回宮田ふれあいまつり”が行われました。参加は推定2千人の大賑わいです。

この祭りは、当初スポーツ少年団の交流会として発足し、その後、全



子供風流物が活躍

住民の「ふれあいまつり」に発展しました。

多くの人を集めるには、「子どもを集めれば大人もついてくる」との考えから、子どもみこし3台、子供風流物、子供風流太鼓と、子どもの出番をたくさんつくりました。

実行委員の大内十寸さん、染谷正枝さん、高田瑞穂さんは「誰でも故郷と云えば子どもの頃のお祭りを思い出すでしょう。あの音とざわめき、あの空気をつくり、子どもたちの心に残してやりたい。まつりを通して住民の交流がすすみ、人づくりからまちづくりへと連なれば幸いです」と。おまつり万歳! そんな気持ちにさせられる宮田のふれあいまつり。いつまでも続くことを願いたいものです。

日高学区スポレク祭

10月25日、行って、見て、参加してをテーマに日高学区(会長、小松正さん)の三世代スポレク祭が行われました。

子どもからお年寄りまでみんなが参加できるよう工夫され、アトラクションには日立電線日高工場のステファン・マヤカと走ろうなどもプログラムされ、企業との連携も忘れません。

学区の体育振興会、文化協会、

小・中学校、幼稚園、公民館、商店会、婦人会、PTAなど多くの団体が協力して盛り上げています。

なつかしの遊び、まんぷく横町や



マヤカと力走

緑日村など、楽しいネーミングのコーナーもたくさんの人たちでにぎわいました。中学生も部活対抗の競技や売り子役で大活躍です。

平成元年、それまで27回続いた動員型の市民体育祭から、大議論の末、ちょっと行ってみようかと出掛けて来た人たちも、参加できるスポーツ祭にしたと話してくれました。

実行委員長の志賀純夫さんは「みんなの楽しそうな顔を見るとやってよかった。苦勞したことを忘れてしまいますよ」と言います。爽やかな祭りでした。

海防城を学ぶ

9月14、16、19日の3日間、助川コミセンで、助川まちづくり協議会主催の「助川海防城を語る会」が開催されました。

この助川海防城は、天保7年(1836)徳川斉昭が外敵から国を守るために築城。この種の城としては日本に一つしかない貴重な城です。

大貫先生の熱心な講義に、50名の聴講生からも活発な質問があり有意義な会となりました。

19日には、助川小学校で海防城模型を見学、本丸跡、城主山野辺氏の墓所、幕末の騒乱で死亡した多くの家臣たちの墓、海防砲台跡などの史跡を歩きながらの講義となりました。

また今年、大貫先生を中心に有志による助川海防城跡保存会も結成されたそうです。こうした活動を通して、より多くの人たちに海防城を知ってもらい、将来、城跡公園に復元されたと願わずにはいられません。



史跡めぐりで生涯学習

大久保ふれあいまつり

11月1日、明るい大久保市民の会主催で、防災訓練を中心に“大久保ふれあいまつり”が行われました。多賀消防署の協力で、消火器やパケツリレーによる初期消火、応急処置の方法など、子どもからお年寄りまで多くの人々が体験しました。

大久保吹奏楽部のミニコンサートや、大久保小PTAによるバザーや各種ゲーム、市民の会の模擬店もあり、楽しみながら防災の必要性を学びました。

会長の岡部光雄さんと防災部長の



応急措置の訓練中

瀬谷卓夫さんは「たくさんの方の参加があったが、今後は30~40代が防災組織の中心を担うようにしたい」と振り返ります。PTAや子ども会はじめ、すえひろ児童館、中部支所、ボーイ・ガールスカウト、ひまわりバトンリズムスポーツ少年団などが連携して行っています。

久慈地区市民体育祭

11月3日、久慈地区市民体育祭が久慈中学校を会場に開催されました。

昔から「必ず晴れる文化の日」を選んで行われてきたこの体育祭は、48回目を迎えた今年も好天に恵まれ、久慈地区の伝統行事の一つとして地域の人たちに受け継がれてきました。人気の種目は、7つの町内が各団長をモデルに趣向を凝らす仮装。昔話や現代の世相をテーマに、会場を笑いで包みます。また、体育祭のトリをとる町内対抗リレーは、応援席が総立ちとなる盛り上がりです。



笑いをさそう仮装の時間

しかし一方では、少子化や核家族化などの影響で参加者は年々減少しているそうです。体育祭の運営に長くかかわってきた宇佐美栄十さん、星野高恵さん、金澤一雄さんの話では、「運動会は勝負ごとが大好きな浜の人にとって、昔は大きな楽しみ。今は個人や家族での楽しみが増えて

第2回 百年塾広報紙コンクール

広報紙づくりで頑張っている皆さんできばえを評価しましょう。

とき 1月30日(土) 13:30~ 視聴覚センター4階

対象 ■小・中・高PTA、一般
応募方法 □今年度発行のもの1点
□百年塾サロン宛に12月25日までに送ってください

各賞 本部長賞ほか各賞
内容 表彰と交流
広報紙づくりの苦労話など

ガイドブックが完成



百年塾ガイドブック「百年塾する人この指と〜まれ」ができました。発行は20,000部で、企業や市内の学校、公民館、コミセンなどの公共施設を中心に配布する予定です。

その他希望される方は
百年塾サロン ☎(23)9165 又は
生涯学習課 ☎(23)9150 にお問い合わせください。